文星芸大附 now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話（028）
636-8000（中学直通）
636-8585（高校直通）
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行　教務部・学報編集係

ちばてつや物語

学校法人宇都宮学園理事長　上野孝子

昭和二十年の夏、八月十五日、六歳だったちばてつや少年は、中国奉天（現在の瀋陽）市内で、父親が働いていた印刷会社の中庭で友達と遊んでいました。その日の昼ごろ、そこで働く日本人とその家族が所長の社宅に集められ、天皇陛下の玉音放送を聞き、そこで初めて日本の敗戦を知ったのです。

敗戦を知った中国人や朝鮮人が喜んで騒ぎ、やがて暴動となって、あちこちの日本人の家を襲い始めました。窓ガラスが割られ、ドアを蹴られ、爆竹と銃声が一晩中鳴り続けました。

父親が武装を解かれて家族の元に帰ってきたのは一週間後のことでした。より安全な場所を求めて真夜中の逃避行が始まりました。途中、父親の同僚だった徐集川（じょしゅうせん）氏に偶然会って、その人の家の屋根裏にかくまわれることになりました。

その時母親が、印刷会社の紙の端切れとイソップ物語の童話集を持ってきていて、その童話集を毎日読んでくれました。そして妹や弟が、「お兄ちゃん、絵を描いて」と言ったので、その端切れにマンガを描いたことが、ちばてつやマンガの原点になりました。

その後、厳しい冬を乗り越え、約一年かかって、渤海湾にあるコロ島という軍港にたどり着きました。そして、引き上げ船に乗って、一家は日本に帰ることが出来たのです。

東京に戻ってきてからは、貧しくても楽しい生活が続きました。勉強しなさいと母親にずいぶん叱られましたが、マンガを描くことに夢中になっていました。高校二年生の頃に描いたマンガ原稿が買い上げられた時は、母親も大変喜んでくれました。それから、本格的なマンガの創作活動が始まりました。

『のたり松太郎』、『あしたのジョー』、『おれは鉄兵』等々、数限りなく終わりのない著作熱で、日本でも有名なマンガ家になり、さらには世界にもその名が鳴り響く存在になったのです。

何よりも親孝行な彼は、親に家を建ててあげました。両親が苦労している姿を見ながら育ったので、自分もマンガ界で力をつけようと大変な努力をしたのです。

五十数年間のちばてつや先生のマンガ人生は、まじめに努力を重ね、名人マンガ家としての地位を確立され、現在は文星芸術大学で、学生にマンガの授業をしています。何事にも熱心で指導力抜群、文星芸術大学の学生達は、ちば先生に手をとって教えて頂ける幸せを身に沁みて感じていることと思います。

人が成功するためには、こつこつと努力をしなければならないということですが、ちば先生は、まずもって努力の塊のような方です。それに加えてちば先生には、心の優しさと温かさがあるので、教えて頂く学生達は、本当に幸福であると思います。

今回は附属中学・高校の皆さんにも、ちば先生のことを知ってもらいたくてご紹介しました。

ちば先生のますますのご活躍とご健康を祈りながら、私の文を終わります。

文星芸大附now！は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

1ｐ ＜理事長より＞
2ｐ ＜秀文杯・内定を目指して＞
3ｐ ＜輝け!!文星健児＞
4ｐ ＜ハイキング・福祉体験＞
5ｐ ＜芸術体験・文星散歩道⑦＞
6ｐ ＜文星フォトギャラリー＞

中学校行事予定

▽一月
- 7日(木) 第三回入学試験
- 8日(金) 第三学期始業式
- 課題整理テスト（一・二年）
- 9日(土) 人権教室
- 12日(火) 前期学力診断テスト（三年）
- 12日(火)～14日(木) スキー教室（一・二年）
- 23日(土) ボランティア実践
- 25日(月) 学校長講話

▽二月
- 2日(火) 後期学力診断テスト（三年）
- 6日(土) 学力推移調査（一・二年）
- 8日(月) 立志式（二年）
- 12日(金) 授業参観
- 19日(金) 予餞式・予餞会
- 24日(水)～26日(金) 学年末考査
- 27日(土) 青少年能学鑑賞講座

高校行事予定

▽一月
- 8日(金) 第三学期始業式
- 12日(火)～14日(木) 前期高校入試（生徒臨休）
- 15日(金) 校内漢字テスト（普・総ビ）
- センター試験受験者激励会
- 18日(月) 校内漢字テスト（英進）
- 進路テスト（一・二年）
- 23日(土) 進学相談会（英進・普進学）
- 25日(月)～27日(水) 学年末考査（三年）

▽二月
- 2日(火) 後期高校入試（生徒臨休）
- 19日(金) 予餞式・予餞会
- 20日(土) 新入生一日入学
- 26日(金) 第三学年修了式
- 同窓会入会式

高等学校

生徒会からこんにちは！

生徒会副会長の仲田早太です。十月に予定されていた雄飛祭は、残念ながらインフルエンザの影響で中止となってしまいました。私たち三年生にとっては最後の雄飛祭だったので、とても残念です。未だ猛威を振るうインフルエンザは大きな心配の種です。来月のセンター試験までには沈静化すると良いのですが。

二学期の行事と言えば、雄飛祭の他にもう一つ忘れてはならないのが「秀文杯」です。前校長先生の御命日である十一月五日に、スポーツがお好きであった前校長先生を偲んで毎年行われている体育大会です。インフルエンザの影響により、体育大会開催も危ぶまれましたが、今年も無事開催することができました。

新入生歓迎体育大会とは違い、「ムカデ競争」「大縄跳び」「二人三脚」「リレー」とたくさんの種目があるのがこの体育大会の特徴です。大縄跳びでは何と百回を超える大記録が飛び出し、また、先生方のリレーも盛り上がりました。

平成二十一年度 秀文杯体育大会 最終結果

【総合成績】

《優勝》
一学年　十組
二学年　十組
三学年　七組

《準優勝》
一学年　六組
二学年　五・六組
三学年　四組

【種目別成績】

○ムカデ競争

《優勝》
一学年　十組
二学年　十組
三学年　五組

○大縄跳び

《優勝》
一学年　十組
二学年　五・六組
三学年　四組

○二人三脚

《優勝》
一学年　十組
二学年　四組

○リレー

《優勝》
一学年　六組
二学年　十組
三学年　七組

体験学習

スポーツ

三年生のスポーツ選択者十二名が、赤岩パラグライダースクールにてパラグライダー実習を行いました。昨年は、丘の上からの初心者コースを体験しましたが、今年は、より高い位置から本格的なパラグライダーを体験しました。

始まる前は地上二七〇mという高さに、驚きと不安を抱えている様子でしたが、着地した時には、「宇都宮の景色が奇麗」「鳥になった感じがした」など充実感に満ちた言葉を聞くことができました。卒業後も続けたいと考えている生徒は、さらに上級コースへ進むための試験を受けようと向上心に燃えていました。

自動車整備

将来自動車を持ったときに最低限困らない知識・技術の習得と関連資格の取得を目指して、三年生八十八名が頑張っています。

実習では、グループに分かれ、エンジンの組み立てや分解。クラッチディスクやタイヤの脱着。オイル管理やメンテナンスなど、車を動かす動力部分を中心とした実習を行っています。

取得資格として、「普通救命講習」「高所作業特別教育」「フォークリフト特別教育」「アーク溶接特別教育」「乙種第四類危険物取扱者」の資格試験を実施し、多くの生徒が合格しています。

調理

～特別講師実習（和食）～

十一月十二日（木）、十三日（金）に、三年生の調理選択者は、ホテル丸治総料理長の樋山三郎先生（本校卒業生）をお招きして、日本料理の実習を行いました。

～献立～

海老芋の煮物
柿なます
さより姿づくり
鮭飯
（師範による鯛の刺身）

季節の食材を生かしたものばかりで、目にも美しい献立でした。生徒達は、さよりの三枚おろしに悪戦苦闘していた様子で、樋山先生の優しいアドバイスに耳を傾け、熱心に取り組んでいました。長い時間をかけて作った料理も、食べるのはあっという間で、おいしく頂きました。

ゲーム／CG

ゲーム／CGでは、フォトショップやイラストレーターなどのグラフィック・ソフトの使い方を学び、2Dの製作を体験しました。同製品は、プロも使用する有名ソフトであり、機能を全て使えるようになると、思いのままにイラストを描けるようになります。

総合体験

～蕎麦打ち体験～

十一月二十日（金）、総合ビジネス科サービスコース三年十二組の生徒十六名が、那須塩原にて蕎麦打ち体験を行いました。

いつも何気なく食べている蕎麦が、様々な行程を経て作られることを知り、生徒達は不慣れながらも、蕎麦打ちを楽しく体験していました。

体験後の感想は、「何回も練ったり、水と粉の量をうまくつり合わせたりしなければならなかったので、予想以上に難しかった」「全員が協力し、積極的に取り組めたので、とてもよい蕎麦が打てた」などの充実した意見を数多く聞くことができました。

目指せ！全員内定！

就職指導部　湊谷　浩司

今年も九月十六日から全国一斉に就職採用試験が始まり、本校から約百名近くの生徒が試験に臨みました。

近年であれば、一次試験で七割前後の生徒が内定を得られますが、今年は五割を切る非常事態となり、予想以上の厳しいスタートとなりました。

もともと厳しい状況は予測していましたが、更なる企業経営の悪化等で、求人票の撤回、求人数の減少など、就職希望者には更なる痛手となりました。また、今年は二次募集をする会社が少なく、未内定者が多いため、就職状況はますます厳しくなっています。

十一月末現在、本校生徒の内定率は八十％を越えましたが、例年ならばほぼ決まっている時期です。これからも全員の内定を目指し日々面談していきますが、生徒の皆さんは最後まで諦めず、本校で培った精神でこの厳しい就職戦線を突破し、一社会人として巣立ってもらいたいと思います。

輝け!!文星健児
～部活動報告～

多くの新星が活躍した新人大会の結果を中心に、十月以降の部活動の様子をご報告します。

※（英）＝英進科
※（進）＝普通科進学コース
※（総）＝普通科総合コース

バスケットボール

宇工を破り
全国大会出場！

本校バスケ部は十一月三日（火）、栃木市総合体育館で行われた全国高校バスケットボール選抜優勝大会県大会の決勝を戦い、宇都宮工業を破って見事全国大会への切符を勝ち取った。

六月のインターハイ県予選では、本校は準決勝で宇工に敗れて涙を呑んだが、今回は決勝の舞台でその雪辱を晴らすこととなった。

本校 107（29－30、21－20、25－25、32－24）99 宇工

全国大会初戦の相手は、東海大四（北海道）。十二月二十四日（木）に東京体育館で行われる。本校バスケ部の持ち味であるスピード感ある攻撃で、全国に文星の名を轟かせてほしい。

卓球部

団体準優勝、関東大会へ！

本校卓球部は、十一月十二日（木）に鹿沼総合体育館で行われた県高校新人卓球大会で団体戦二位となり、十二月二十三日（水）から茨城県で行われる関東大会への出場を決めた。またダブルスでは堀光希（総二年）・澤畠雅孝（総一年）組と高田凌太郎（総二年）・高久直人（総二年）組がともに準決勝まで勝ち上った。

柔道部

本校柔道部は、十一月七日（土）から行われた県高校新人柔道大会に出場し、個人66キロ級で嶋田絢伍選手（総一年）が、90キロ級で小川智史選手（進一年）がそれぞれ準優勝を果たした。団体では準々決勝で佐野高に5－0で快勝、続く準決勝で国学院栃木に惜敗した。

陸上競技部

ハンマー投げ優勝

県高校新人陸上競技大会が、十月十日（土）から行われ、本校陸上競技部の石川陵選手（総一年）がハンマー投げに出場。43メートル42の記録で見事優勝を果たした。

硬式野球部

本校硬式野球部が出場した秋季関東地区高校野球大会で、本校は十一月一日（日）、一回戦で市立船橋（千葉）と対戦。追い上げかなわず、惜しくも4－6で破れた。

ご声援ありがとうございました。

美術部

最優秀賞受賞で全国へ

本校美術部の辻正朗君（美術デザインコース一年）の作品『畦道』（油彩・S50号）が、十一月に行われた県高校美術展で最優秀賞に輝いた。（裏表紙「文星フォトギャラリー」をご覧下さい）

辻君は今年度の雄飛祭のポスターデザインも担当し、鮮やかな獅子の姿を描いて好評を博した。

作品は来年八月に宮崎市で行われる全国高校総合文化祭に出品が決まっている。

写真部

本校写真部は十一月の県高校総合文化祭に四名五作品を出品し、林淳平君（総一年）の、夜の路上を幻想的に切り取った作品『無音』（裏表紙「文星フォトギャラリー」をご覧下さい）が準特選に入選、またもう一つの作品『4号線』が奨励賞を受賞した。

将棋同好会

小倉君、全国大会へ！

本校将棋同好会は、十月三十一日（土）から行われた県高校将棋新人戦に四名が出場し、小倉一富史君（英一年）が、全77名の出場者の頂点に輝いた。決勝では真岡高一年の車田君と対戦。見事勝利し、来年一月二十八日（木）から山口県で行われる第18回全国高文連将棋新人大会への出場権を獲得した。

進路講話

十一月二日（月）に普通科と総合ビジネス科二年生を対象に「進路講話」を行った。今回は「さんぽう」より講師の方を招き実施した。

「進路は、将来自分が就きたい職業を考えた上で選択しなければいけない」という熱心なお話に、多くの生徒が聞き入っていた。進路選択まで一年を切った今、生徒たちの眼差しは真剣そのものだった。

高大連携科学講座

十一月三日（火）に宇都宮大学教育学部主催の高大連携科学実験講座に、本校英進科の一年生七十二名が参加した。

講座では「化学」の授業の発展学習として、アルミ箔を溶かしてミョウバンの結晶をつくる実験に取り組んだ。白衣に安全メガネをつけた生徒達は、大学生の説明を聞きながら楽しそうに実験を進めていた。

検定試験取得状況（十一月末現在）

第41回全商ワープロ検定

【二級】
山本 勇気　鈴木 将太　鈴木 亮
橋本 拓也

【三級】
磯 正人　川上 陽平　齋藤 和鷹
手塚 良　橋谷 将人　前嶋 瞭
尾島 志音

第119回全商珠算電卓検定

【電卓一級】
伊藤 雅人　齋藤 和鷹　前嶋 瞭

【普通計算部門電卓一級】
暮林 翔真　小池 祐貴　鈴木 将太
鈴木 啓之　鈴木 亮　田中 智也
長澤 颯汰　橋本 拓也　松本 啓太
宗像 謙　屋代 幹人　小倉 滉平
佐藤 孝紀　榎本 昌広　木村 翔太
熊谷 敏基　小林 祐輝　関谷 陽太
高屋敷雄太　徳田 誠也　平野 幸冬
磯 正人　齋藤 諒典　手塚 良
前嶋 瞭　荒川 真吾　木薬 泰輔
鈴木 康平　高庄 純　高橋 佑紀
高林 将太　横坂優太朗　横山 直諒
渡辺 武至　大越 一樹　大関 翼
神山 嘉崇　設楽 由宇　鈴木 義也
高橋 悠樹　瀧 雅行　山本 勇気

第42回全商英語検定

【二級】
高橋 哲哉　酒井 竜馬　先崎 凌麻

【三級】
暮林 翔真　鈴木 啓之　根津 邦彰
宗像 謙　阿久津知志　大矢 亮太
笹沼 翔太　武田 有人　関岡 佑太
猪俣 貴之　大貫 翼　添谷 恭平
永井 智

第95回全経電卓検定

【一級】
磯 正人　高庄 純　高橋 佑紀
渡辺 武至　唐澤章太郎　鈴木 義也

【二級】
暮林 翔真　小池 祐貴　田中 智也
手塚 良　木薬 泰輔　瀧 雅行
山本 勇気

【三級】
小川 智也　鈴木 啓之　鈴木 亮
長澤 颯太　松本 啓太　屋代 幹人
阿久津圭太　小倉 滉平　佐藤 孝紀
樋口 武志　阿久津反汰　榎本 昌広
関谷 陽太　高屋敷雄太　大越 一樹
小林 亮太　下山 尚孝　生井 勝

日本漢字能力検定

【二級】
阿久津貴平

【準二級】
近藤 雄大　小峰 拓馬

【三級】
堀井 亮　石川 英世　児玉 拓路
関口 祥弥　田村 真吾

実用英語技能検定

【二級】
菅原 淳　菊地 寛　吉田 滉太
高橋 廣晃　赤澤 規広

【準二級】
捧 文人　高橋 諒　小峰 拓馬
児玉 拓路　斉藤 大輔

【三級】
笹渕 泰雅　山崎 貴久　笹沼 翔太

中学校

秀文杯校内体育大会

十一月五日(木)、秋空の下、秀文杯校内体育大会が行われました。昨年度に続いて高校生と一緒に参加できる学校行事として、中学生も全学年を縦割りの四チームに分けて、競技に参加しました。

今年は、昨年の種目の「二人三脚・ムカデ競争・リレー・大縄跳び」に「玉入れ・綱引き」を加えた全六競技を実施しました。

生徒の感想

二年　井上　博紀

僕にとって二度目となる秀文杯体育大会が先日ありました。昨年の秀文杯がとても楽しかったので、今年も期待していました。しかし、二年生になって後輩ができたことで、昨年とは自分の立場が少し変わって、後輩に何とかいい姿を見せなければいけないと思ってしまって、楽しみな反面緊張していました。

当日はいろいろな競技をしました。それぞれの競技を真剣に行いました。僕は特に、玉入れを真剣にやりました。僕は初め玉入れをバカにしていました。しかし、以外に難しくてなかなか玉が入りませんでした。僕はこの時、牧島先生の話を思い出しました。「小さなことから忠実に」という言葉です。牧島先生は本当に大切なことを話して下さっていると実感しました。僕は、スポーツというものは、気持ちを初心に戻してくれるとても大切なものだと思いました。

今まであまりスポーツが好きではありませんでしたが、これからは積極的にスポーツをしようと思いました。

みんなで力をあわせて

ハイキング

十月十五日(木)に、奥日光・西ノ湖～中禅寺湖北岸遊歩道というルートでハイキングを行いました。

生徒の感想

一年　吉田　賢太

僕は、日光にハイキングへ行って楽しい思い出がいくつもできました。

まず、いろは坂から見た日光連山は、まだ葉が緑に近いものもあれば、赤く紅葉しているものもあり、とても色鮮やかできれいでした。

次に、目的地に着いてからのことです。僕はバスを降りたら、寒さと同時にこの辺りは空気がとてもきれいだなと感じました。そして、大自然の中を気持ちよく歩いていると、西ノ湖に着きました。西ノ湖では、男体山が見え、四方全部紅葉している木々に囲まれた、とても良い景色の中で、お弁当を食べました。

紅葉と湖に囲まれた中で、クラスの皆と食べたお弁当は、いつもよりさらにおいしく感じました。

中禅寺湖北岸遊歩道にて

福祉体験

三年生を対象に、宇都宮市のケアプラザ而今(にこん)にて、福祉体験を行いました。五人ずつ三班に分かれ、十一月十七日(火)・十八日(水)・二十日(金)のうちいずれか一日の体験学習でしたが、各自有意義な時間を過ごしてきたようです。

生徒の感想

三年　石川　康介

私は福祉体験を行ってみて、感じたことがいくつかあります。

一つ目は、お世話になった施設の設備についてです。マッサージ機や老化防止のための様々な道具が置いてあり、とても良い場所だなと思いました。お年寄りの方に聞いたところ、「素晴らしい施設だ」と言っていました。

二つ目は、介護することの大変さについてです。出来るだけ介護士さんのお役に立とうと思ったのですが、少し手伝いをしただけでも、とても疲れてしまって、失敗して色々な注意を受けました。介護士さんは、私たちが気付かないことまでやっていて、とてもすごいと思います。

最後に、手伝いをしたときに、お年寄りの方々からかけて頂いた感謝の言葉や笑顔はとてもうれしかったです。また機会があれば、お手伝いに行きたいなと思っています。

三年　岡崎　響

ケアプラザ而今では、約三十人の利用者に対して、三・四人程のスタッフの方が働いていました。利用者の方をお風呂に入れたり、歩行の手伝いをしたり、車椅子を押すなど、常に何かをしていてとても大変そうでした。しかし、大変な中でも利用者の方と常に目線を同じにして、笑顔を絶やさず、はっきりとした声で話していました。また、耳の遠い利用者の方には分かるまで何度も話していました。それを見て、高齢者の方と接するときは、根気強くならなければいけないのだということが分かりました。

今の日本には、施設に入りたくても、順番待ちで入所できない人が多いらしいです。もし私の身近な人が、年をとって周りの介護が必要になっても、そういう施設に入れないかもしれません。そうなったら、私は今回の体験で学んだことを生かし、根気強くその人に接したいと思います。

三年　永井　裕

福祉体験では、お年寄りの方と沢山話をしたり、お箸で豆をつかんで別の皿に移すゲームをしたりしました。お年寄りは不器用なものと思っていましたが、おばあさんと勝負してみたら、かなりの差で五回くらい負けてしまいました。私は自分のガサツさにも驚きましたが、おばあさんの器用さにも驚きました。

正直なところ、初めのうちは、お年寄りと接するのは面倒だという思いがありましたが、話をしてみると、楽しいという気持ちにしかなりませんでした。

今まで興味が無かった福祉ですが、この体験を通して興味を持つことができたので、これからも色々なお年寄りと接して、この体験で学んだことを生かしていきたいと思います。

芸術体験

十一月十九日(木)に文星芸術大学にて、芸術体験を行いました。芸大へ到着後、一年生が陶芸、二年生は染織、三年生がアニメーション製作体験と、学年毎に分かれて、それぞれの活動を行いました。生徒の感想を一部ご紹介します。

一年　北條 泰崇

僕は、始めに湯飲みを作ろうと思いました。でも、ふちの部分が大きくなりすぎて茶碗になってしまいました。次に作ったもう一つの湯飲みはうまく出来たのでとても良かったです。

また、どんぶりも作ってみようと思いましたが、一度目はやっぱり失敗してしまいました。でも、二度目は最初に間違ったところがうまく出来て、とても良かったです。

最後に皿を作りました。教えてくださった大学生の方が、皿は難しいと言っていたのですが、ぜひ挑戦してみたいと思いました。やってみたら思っていた以上にうまく出来て、四つ作った中でも一番うまいかなと思ったくらい自分では出来が良かったと思います。焼いた後二つくらいはひびが入らずに戻ってきてほしいです。

一年　柳沼 大介

僕たちは、芸術体験をするために、文星芸術大学へ行きました。大学へは初めて行ったのですが、こんなに近くにあるとは思っていなかったので、ビックリしました。

陶芸は、一度笠間でやったことがありましたが、本格的にろくろを回したのは初めてでした。テレビで見ると簡単そうに見えるのに、実際はかなり難しかったです。特に、形が崩れないように少しずつ作業をしなければいけないところが難しかったです。少しでも集中していなかったり、よそ見をしてしまったら、すぐに今までやったことが無駄になってしまいます。しかし、一つ一つ丁寧に作業することが出来たと思います。

もう一つ難しかったのは、作品をろくろ台から取り外すときです。ひもを巻きつけて取るのですが、あまり強くひもを引いてしまうと、作品が壊れてしまいます。この体験を通して、陶芸はとても大変なものだと分かりました。

真剣な面持ちでろくろ回す一年生

各種表彰関係

うつのみやジュニア芸術祭

【学校書道展　条幅の部】

金賞　北條 泰崇(一年)

毎日全国学生書写書道展

【席書の部】

特選　北條 泰崇(一年)

男女共同参画社会づくり

標語コンクール

努力賞　清水 達貴(二年)

税に関する作文

宇都宮税務署管内

納税貯蓄組合連合会会長賞

平野 卓也(二年)

文星散歩道 ⑦ 寒くなりました

理科 稲澤 雅夫

（題字　大木副教頭）

暖冬とはいえ、もう十二月。やっぱり寒いですね。寒いと情けないのは財布の中身とギャグでしょうか。凍りつくようなギャグはやはり夏場に限ります。

ところで氷といえば、池に張る氷はなぜ表面から凍り始めるのでしょうか。気温・水温を合わせて、水面の温度が一番低いからなのでしょう。ではなぜ池や湖の底までは凍ることはないのかというと、水の密度は4℃のとき最大になるからですね。すなわち、4℃前後のときの水は一番重くなり、池や湖の底にたまるからなのです。4℃の水では凍らないですね。このことが水中の生物の生命を守ってきた要因なのです。

寒さに震えているのは何も人間だけではないでしょう。文星の自転車置き場横のイチョウの木。彼もかなり寒いはずです。教室の窓からその姿がよく見えるんですね。今はすべての葉を落としてしまい、完全にはげ上がってしまいました。黄色い葉で足下は敷きつめられています。夏場の緑々だったころ、光合成で蓄えた栄養分でこの冬場を堪え忍ぶのでしょうね。これらの大量の落ち葉は、いつのまにか消えていきます。掃除されることもあるのでしょうが、多くは土に変身していくのでしょう。余談ですが、銀杏は正式には実ではなくて種子ですね。

ぼんやりと窓から見るイチョウのある景色は、季節の移り変わりを見事に教えてくれます。私の大好きな一年かけてのスライドショーです。

各種検定取得状況

（十一月末日現在）

【日本漢字能力検定】

二級　岡崎 響(三年)

準二級　小森 信之(三年)

三級　村上 大河　田中 圭(一年)　永井 裕(三年)　森下 雅俊　赤澤 美徳(二年)　小林 弘和　野口 大樹　原田 佑一　平野 卓也

四級　泉 浩太郎(一年)　甲賀 優希　佐藤 森吾　吉田 賢太

五級　七名　六名

【実用英語技能検定】

準二級　村上 大河(三年)　森下 雅俊

三級　寺田 篤弘(三年)　六角 秀明　菊地 優志(二年)

四級　二名

五級　三名

宇河地区英語スピーチコンテスト

十月二十二日(木)に宇河地区英語スピーチコンテストが行われ、各学年より一名が参加しました。結果は次の通りです。

優秀賞　高橋 英統(一年)

優良賞　石井 健太(三年)　原田 佑一(二年)

部活動大会結果

県中体連新人大会

【バドミントン】

ベスト8　甲賀 優希(一年)

文星フォトギャラリー

和食実習／高校・調理

パラグライダー実習／高校・スポーツ

秀文杯／高校

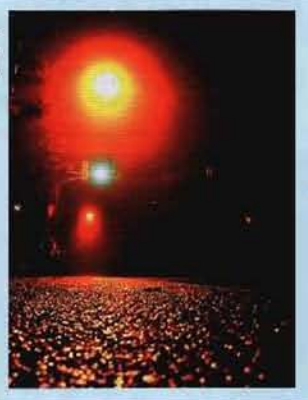
秀文杯／中学校

芸術体験／中学校

ハイキング／中学校

◀絵画『畦道』

写真▶『無音』



（左）第52回 栃木県高等学校美術展

最優秀賞

絵画『畦道』S50号油彩

1年11組　辻　　正　朗

（右）第31回 栃木県高等学校総合文化祭写真展

準 特 選

写真『無音』

1年９組　林　　淳　平